

シートメタル九州

Sheet Metal

KYUSHU

2012 秋号

第34号

CONTENTS

特 集

古事記はニッポンのルーツ！ 2

企業探訪

第33回

株式会社シマヅテック 3

工業会からのお知らせ

板金図面検定合格おめでとうございます 4

全国初！板金い・ろ・は研修会 5

パワーアップ研修会成果発表会開催 6

マイブーム

釣りは男の口マン～大物を求めて～ 7

熱風！亞細亞見聞録

Vol.5

すみません、私事で。～(株)三松・上海紀行 8

TOPICS

全国初！板金い・ろ・は研修会に参加して… 10

編集後記 10



特集 古事記は ニッポンの ルーツ!

今年は西暦 712 年に古事記が編纂されてから 1300 年。古事記に関する書籍もよく見かけます。ちょっと前にゆるキャラせんとくんが流行りましたが、あれが平城遷都 1300 年（なんと大きな平城京ですね）の時でしたからそのすぐ後のことになります。古事記といえば日本最古の歴史書といわれていますが、40 年近い歳月をかけて編纂されたようです。その内容は神話から続くものですが、国の歴史を知ることによって日本人の価値観も知ることが出来そうです。

日本人はよく無宗教だといわれたり、クリスマスを祝い、教会で結婚式を挙げ、お寺でお葬式をしたりと無節操だともいわれたりします。ですがお正月に餅や注連縄・門松を飾るのは歳神様を迎えるためのものですし、お墓参りにも行きますし決して無宗教ということはないと思います。またそもそも日本の神様と西洋のゴットでは全く違うのもので、日本では八百万の神といわれるようありとあらゆるものに神が宿り身近な存在で何でも受け入れるのに対して、西洋では唯一絶対の存在で他を認めない違いがあると思います。根幹にあるのは自然信仰や先祖崇拜ではないでしょうか？

話変わりまして古事記の内容そのものにはここでは触れませんが、古事記がルーツな

お話をいくつか。国技相撲のルーツは神様の力比べ。お雛様とお内裏様は意外にもアマテラスとスサノオという姉と弟の神様がルーツなようです。神社へ行った時に手を洗いますが、これは神様が川等の水で穢れを洗い流す禊ぎのなごりのようです。サッカー日本代表のマークといえば八咫烏。神武天皇を道案内するために天から遣わされた鳥ですが、その導きで難関を脱出し敵を倒すことが出来たことからウィニングロードへと導く鳥と称されているようです。国鳥である雉も使いの鳥であったことがルーツなようです。最後に建国記念日や勤労感謝の日等のカレンダーの祝日。戦後名称を変更しましたが、神武天皇が即位した紀元節と、五穀豊穣を祈り収穫の感謝を捧げる新嘗祭がそれぞれルーツになっています。九州には宮崎を始めとして古事記のまつわる土地柄が数多くある地方もあります。

今年は西暦ですと 2012 年ですが、日本は初代神武天皇が即位されてから数えて今上天皇で第 125 代の皇紀 2672 年。これだけの歴史を持った国は世界でもなかなかありません。西洋化が進んでいる現在ですが、自分の国のことを使ってもっと誇りを持って良いではありませんか？ ホテルに泊まると聖書を見かけることがあります、これを古事記にしようという動きも始まっているそうです。頑張れニッポン！ オリンピックは終わってしまいましたが、自分の国のルーツを探るべく、古事記を一読されてみてはいかがですか？

〈白水 靖久 (株)新栄製作所〉



日本代表エンブレム

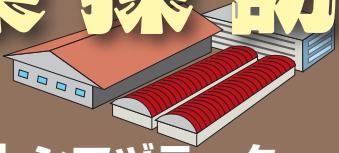


©NARA pref.

企業探訪

第33回

株式会社 シマヅテック



会社外観



島津竜太朗専務

九州シートメタル工業会の会員各社を順番に訪問し紹介させていただくシリーズ第33回目は、熊本県の株式会社シマヅテックです。島津竜太郎専務にお話を伺いました。

Q: ご創業のきっかけをお聞かせください。

A: 松橋町農業協同組合の農村工業として昭和49年に創業開始、阿蘇立石電機(株)の協力工場としてスタートしました。創業当初は農協出資ということもあり、農家の就職先の受け皿となっていましたが、昭和63年に農協電気事業所閉鎖により事業移管し、有限会社を設立、平成3年に社名を(株)シマヅテックとして今に至ります。

Q: 御社の事業内容、特色をお聞かせください。

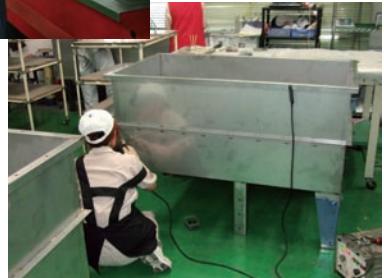
A: 事業内容は、ノートパソコン用光ディスクドライブの一貫生産(実装・調整・組立)、農業用ビニール・資材の製造販売、各種装置組立、精密板金・機械加工です。板金加工は平成13年に工場を増設して生産開始しました。昔から半導体関連の装置組立の仕事をしていて、支給してもらった部品を組立して出荷していたのですが、部品加工から組立までやりたいとの思いから加工部門を立ち上げました。この業界は海外との競争が激しく変動の激しい業界の為、色々と問題や苦労はありました。平成17年には工場も増設し順調に業績を伸ばしています。

Q: 会社の展望、今後の夢についてお聞かせく

ださい。

A: 今は装置一式を受注していける体制を構築していきたいと考えています。その為には設計から携わり、組立まで一貫して生産できる体制を作り、より付加価値の高い製品を提供していきたいと思っています。それから社員教育にも力を入れたいですね。セミナーや検定試験など受講すれば本人の自信にも繋がりますし、他の受講者との交流により、いい刺激になると思っています。常に高い技術と技能を培い、お客様に喜ばれ、信頼される会社になりたいですね。

〈野口 武志 (有)真和ステンレス工業〉



製作中の海苔の洗浄槽

会社概要

商 号：株式会社 シマヅテック
所在地：熊本県宇城市松橋町豊福 342-1
ホームページ：<http://www.simadu-t.com/>
E-mail : st@shimadu-t.com
T E L : 0964-33-2528(代表)
F A X : 0964-33-7999

事業内容

精密板金事業部

半導体、液晶のIT分野から、食品、その他機械設備等の部品を加工。最新の設備により、工場内の設備は全てネットワークで連結されデジタル化を促進しております。

デバイス事業部

デバイス事業部ではパソコン用光ディスクドライブの生産を、実装からASSYまで一貫生産で行っております。日々、Q(品質)・C(コスト)・D(納期)の改善に努めています。

2003年9月 ISO9001認証取得

板金図面検定合格おめでとうございます

第6回目の『板金図面検定試験』が平成24年8月25日に実施されました。

7月に検定前講習を福岡で行い、下記22名(1級・10名、2級11名)の方が、難関を突破され見事に合格されました。

板金図面検定合格者名簿

1級合格者					
NO	合格年度	作業	氏名	事業所	資格取得番号
1	24年	板金図面	花井 宏喜	株式会社 鐘川製作所	2012-1-0043
2	24年	板金図面	池永 晶夫	株式会社 鐘川製作所	2012-1-0044
3	24年	板金図面	中田 晃次	株式会社 鐘川製作所	2012-1-0045
4	24年	板金図面	西田 優作	株式会社 三松	2012-1-0046
5	24年	板金図面	宮川 英己	株式会社 三松	2012-1-0047
6	24年	板金図面	三宮 大昇	株式会社 三松	2012-1-0048
7	24年	板金図面	富崎 真二	株式会社 田名部製作所	2012-1-0049
8	24年	板金図面	瀬戸 浩二	ナサ工業 株式会社	2012-1-0050
9	24年	板金図面	牟田口嵩史	株式会社 三松	2012-1-0051
10	24年	板金図面	野田 智広	株式会社 西日本電機器製作所	2012-1-0052

2級合格者

NO	合格年度	作業	氏名	事業所	資格取得番号
1	24年	板金図面	豊田 祥子	株式会社 三松	2012-2-0060
2	24年	板金図面	手嶋 玲佳	八祥産業 株式会社	2012-2-0061
3	24年	板金図面	吉田 雄一	株式会社 ナダヨシ	2012-2-0062
4	24年	板金図面	桑原 正広	株式会社 三松	2012-2-0063
5	24年	板金図面	永野 美香	株式会社 三松	2012-2-0064
6	24年	板金図面	片野 崇司	株式会社 西日本電機器製作所	2012-2-0065
7	24年	板金図面	藤井 裕一	株式会社 鐘川製作所	2012-2-0066
8	24年	板金図面	田野 勉	株式会社 三松	2012-2-0067
9	24年	板金図面	三原 拓郎	株式会社 三松	2012-2-0068
10	24年	板金図面	井手口信吾	株式会社 鐘川製作所	2012-2-0069
11	24年	板金図面	青柳 貢一	株式会社 三松	2012-2-0070

1級 合格者



板金図面検定試験1級を取得できて大変うれしく思います。

資格取得という結果はもちろん、勉強や試験での緊張感など過程においても大変為になりました。

知識の共有を目的としたグループでの勉強会を行い、それがいい結果につながったことで、チームワークの大切さを改めて実感することもできました。

今回得た知識、経験を活かして、これからも信頼される製品を作っていくみたいです。

株式会社 鐘川製作所 花井 宏喜

2級 合格者



最優秀の成績で合格できてとても嬉しく思っています。

事前講習会や社内での勉強会でわかりやすく教えて頂いたお陰だと思います。

しかし、わからないところもあったので、これからもっと知識や技術を身につけていけるよう頑張ります。

(株)三松 豊田 祥子

全国初!

板金い・ろ・は研修会



工業会では今回はじめて、一般的な銀行や、ビジネススクールが行う新人研修の枠を超えて、全国初の板金業界向けの新人研修となる会員企業の新入社員・入社2~3年以内の社員の方々を対象とした『板金い・ろ・は研修会』を実施いたしました。

カリキュラムは一般向けマナー研修に加え、板金業界の位置づけとはどうなっているのか、板金製品はどういったところに使われて、どういう風に役に立っているのか、その社会的貢献度、モノづくりの意義等、九州シートメタル工業会生産部会が講師の先生にお願いして普段の内容を変更して、板金業界のいろは的基礎内容を入れて行われました。

受講生の感想ですが、研修終了アンケートによれば、板金業界・現場作業に直結した内容で、わかりやすく勉強になったとの評価がほとんどでした。それと、今回のセミナー参加を契機として他社の従業員の方の考え方を知ることができて大変参考になったとの意見があり、従業員同士の交流ができ非常に良かったとの感想が大半でした。

講師の先生の感想は、「積極的に受講していただけた。多くの気づきを得て、改めて社会人としての心構えや、自ら積極的に行動すべきことが理解いただけたと感じていますが、企業の皆様におかれましては、日常職務の中では非とも厳しく、かつ温かく、具体的な作業の指導/訓練や、必要な知識/能力の具体的な目標を明示して、潜在能力を開花させ、有能な製造技術者に育成していただきたいと思います。」とのことでした。

研修に参加させた企業の感想は、「フォローアップ研修の日に上司からの評価と自己評価を比較するための宿題期間、上司の見守り期間(2ヶ月)も研修になったと思う。「他社の同期ぐらいの人の仕事の内容や、考え方を聞いて自社に戻った際の態度が良くなかった。」など、こ



ちらも非常に良かったとの声が多かったです。

今後も工業会ならではの新人研修をさらに見直し、より業界的に改善して引き続き開催いたしますので、参加の程、宜しくお願ひいたします。

会場 株式会社アマダ九州支店

講師 アマダ CR推進グループ 鈴木淳一氏

5月8日(火)、5月9日(水) 2日間講義研修後、
7月11日(水) フォローアップ研修

8社 20名参加 平均年齢 21.1歳

5月8日(火)

1. オリエンテーション、自己紹介
2. 社会人としての心構え
3. 職場の上司や先輩の意見から学ぶ「新人さんここに気をつけて」
4. 身につけるべきマナー 姿勢・挨拶・ほうれんそう・言葉使い・敬語
5. 今の心の状態を知り、意識や行動の改善点に気づく

5月9日(水)

1. 宿題個人発表(新社会人としての行動改善目標)
2. 作業の心構えと姿勢(役割と責任)
3. 板金加工の基礎
4. 板金業界の位置づけ・社会貢献・モノづくりの意義
5. 社長への手紙 新社会人としての決意表明
6. 研修会のまとめ 宿題配布

課題図書「仕事のルールブック」を読んで
1101項目のチェックリスト記入
2気づきや個人感想について項目別に記入

7月11日(水) フォローアップ研修

1. 課題図書(仕事のルール)を読んで個人作業と個人発表
2. ヤル気の変化
3. 日常の職務行動
4. 上司への手紙・指導訓練のお礼・新社会人としての振り返り・今後の仕事への取組み・当面の目指す姿

〈植木 剛彦 株式会社ナダヨシ〉

平成 24 年度 パワーアップ研修会 成果発表会開催



成果発表会風景



発表風景



懇親会風景

パワーアップ研修会の成果発表会が、8月28日に行われました。（発表会参加者：発表者8社14名、講師、参加企業経営者・幹部、工業会事務局、計30名）

研修で学んだことを職場に戻って実践していくだく為に、2年前より始まったこの成果発表会。今年は今までと異なり、2日間の研修と3ヶ月後の成果発表会の間に、新たに2回のフォロー研修を実施しました。

問題点の抽出からテーマ選定、原因分析、対策実施、効果確認、そして発表資料の作成まで、研修で学んではいても、実際にやってみるとなかなかうまくいかない、難しい…そんな悩める（？）受講生達は、このフォロー研修で講師の鈴木先生からアドバイスをいただきながら活動をすすめていきました。その効果の表れでしょう。受講生達の発表は、5Sや移動距離の削減、段取り時間短縮などテーマが大変幅広く、さらにこの短期間で1つのテーマを2～3サイクルと改善をより深

く進めていった方や、複数のテーマに取り組んだ方もおられ、昨年からさらにレベルアップしていて本当に驚きました。

また、総評では鈴木先生から、「改善効果1～2%でも会社への効果はとても大きいです。“いかにたくさんの時間を負荷を生むことに費やせるか”を考え、これからも頑張って下さい。」と励ましの言葉をいただきました。

発表会後の懇親会では、お互いの健闘をたたえあい親睦を深めました。また、発表会参加者の審査による成績優秀者の発表も行われ、大いに盛り上りました。

今年は、受講生のパワーアップはもちろんのこと、この「パワーアップ研修会」自体のパワーアップも感じることができました。引き続き、皆様のご要望・ご意見を参考に、本研修会をさらにパワーアップさせると共に、来年もより多くの方が受講（パワーアップ）されることを望みます。

（長澤 敏光 ナサ工業株）

パワーアップ研修会 成績優秀者



最優秀賞
(株)三松
ブレーキライン
椎葉 裕樹



優秀賞
株鐘川製作所
高橋 雅也



敢闘賞
(株)三松
大塚 法雄

自分一人の力では、ここまで改善活動はできなかったです。自部署などの仲間に助けられレベルの高い中での成果発表会で最優秀という結果を得られたことを光栄に思います。今後も部署内などでコミュニケーションを取りながら「ムダ取り」などの改善活動を続けていきます。参加された他社さんでも改善活動は大変だと思いますが、この研修をきっかけに福岡、九州から改善活動を広めていけるように頑張りましょう。

パワーアップ研修会に参加して、すぐに実践しなければならないことが具体的に見つかりました。

日々、仕事の段取りや時間管理はどうすればいいのか悩んでいたところだったので、

今回は講師のお話を聞くことができて、良いヒントが多く見つかりました。

今後は我社の社長の決意である”常に時代の変化を捉え対応し改善していくことで我社を繁栄させ、社員とその家族が豊かで明るい生活を営めるよう努力します”にも応えられるように改善活動も1度の改善で満足せず、さらに継続的改善活動を行い、品質・価格・作業性の良い製品を作りたいと思います。

今回パワーアップ研修を受講して自部署に対する見かたや考え方方が大きく変わりました。自分が大きく影響をうけたのは、実行力を発揮するということ。

問題点が出てきて、改善策を立てても実行しなければ何も変わらない。今までわかっていたが、ついつい後回しにしてしまい実行できていなかったが、研修を通じて実戦し結果が出せたので改めて再認識できました。

これからが新たなスタートとして部署の育成や自部署の改善活動で、より良い作業性を求めて会社の発展に貢献していきたいと思います。

★コイブーム★

釣りは男の口マン ～大物を求めて～

月に一回のペースで仲間と一緒に釣りに出かけるのが、私の楽しみの1つです。

夜中に出発し、船から満天の星空を見上げながら海へ、釣りのポイントへ瀨上がりしビールを一杯、時にはBBQ、そして夜明けとともに釣り開始そんなことを毎回やっていります。



海からの眺め

毎回釣れるわけではありませんが、それでもすっかり夢中になっています。

私が釣りを始めたのは二年前、当時私はこれといった趣味ありませんでした。そんな中会社の先輩に誘われたのがきっかけです。竿もリールもすべて借り物なのに初めての釣行で釣果を上げてしまったのです。そこからハマるのは簡単でした。すぐに釣り道具屋に行き一式を購入してしまいました。



感動する朝焼け

毎回テンション高めで釣りに出かけていく私に「釣りってそんなに面白いの?」と、友人や家族は聞いてきますが、私は「一回行ってみて、釣れたら分かる。」と言っています。(笑)

魚とのやりとりは言うまでもなく、釣り上げたあとの興奮と感動。釣れなくても海を眺めていれば、日頃のストレスなんかも吹っ飛



我が家のかなづか

んでいきます。(もちろん釣った魚は美味しいただいています)

私は石鯛という魚を狙っているのですが、これがなかなか釣れる魚ではなく、いろんな所に出かけましたがまったくその姿を見ることができません。しかし、去年は68.5cm5.5kgという大物を釣り上げ雑誌にも掲載されるという快挙を成し遂げることができました。

その時は魚とのまさに『格闘』。竿は大きくしなり、立って支えることもできないぐらいの強烈な引き、30分近く格闘していました。その時のことは未だに家に飾ってある魚拓を見ると鮮明に思い出すことができます。

今はさらなる大物を求めてさらに精進している最中です。まだまだ自分の釣り熱は冷めそうにありません。

（藤 雄一朗 (株)三藤製作所）



自分が載ったページ



掲載された雑誌の表紙です。

熱風！亞細亞見聞録

Vol.5

すみません、私事で。～(株)三松・上海紀行

円高、高い法人税率、自由貿易協定への対応の遅れ、製造業の派遣禁止などの労働規制、環境規制の強化、電力不足。六重苦による産業の空洞化が叫ばれている昨今。海外に脱出する日本企業の進出先として一番の国「中国」。

この経済の大きな流れの一端を垣間見ることで、世界の動きと我々の企業活動が密接につながっていることを直接肌で感じようと、6月半ば、当社の40周年記念行事に絡めて中国・上海近郊に工場視察に行ってまいりました。

人数の都合で2班に分かれて、それぞれ数社周らせていただきましたが、中国企業の違いを比較することができ今後の当社の海外展開においても大いに参考とさせていただくことができました。

私事で誠に恐縮ですが、その道中を三松・上海紀行として皆様にご紹介させていただきます。

(初日)



↑両替ばっかり、何に使うつもりやら

今回のため
に、パスポート
を取得し初めて
海外にやってき
た当社社員。

まず、わずか
1時間半の飛行
で海外に到着し

てしまつたことにびっくり。そして、1時間半の近さのところにどでかい飛行場や大都会である上海の街が広がっていることに皆一様に驚嘆しておりました。



「福岡より大きい」。いやいや、東京よりももっと大都会。それが上海なんです。

さて、最初から度肝を抜かれた当社社員。高速で今日の宿泊地へ向かって出発進行です。初日の宿泊先は上海から車で2時間の内陸にある常州市のホテル。



↑常州のホテル近辺

ちょっと早めに
着きましたので近
くのテーマパーク
を散策などして今
日はゆっくり休養
です。

(2日目)

本日より工場視察本番です。朝8時半から4社の工場をお訪ねして見学開始です。

写真は小型のエンジン関係部品の工場。わずか4年足らずで人も設備も建物も2倍となつたそうです。発展のペースが桁違いです。



↑鉄道車両部品工場前で記念撮影。

ここも設立わずか8年で1000名以上の工場に成長しています。

特に、列車関連の部材を製作されている現地中国企業につきましては、アルミ加工の技術レベル・品質管理レベルの高さは当社でもなかなかできていないことも多く、感心しきりでした。

我々も、いや日本の企業もうかうかといられない、と言うか、既に抜かれている会社さんも多数あると思われます。

ただ、この会社の社長も、「これからは『多品種少量』に『きめ細かい品質管理』を加えていきたい。まだまだ、日本の企業に学ぶべ

き点は多々あります。」とおっしゃっていたのが印象的でした。

常に技術革新、改善を行うことの大切さをあらためて感じ入りました。



左は純粹な現地ローカル企業。これから発展が期待されます。

当社に送られてくる製品が、

たまたま作られておりビックリです。

その他、工場を見て周る中で中国経済の停滞を象徴する光景も目の当たりにしましたので下に写真を載せておきます。



H重工の工場に所狭しと並べられた在庫の建機

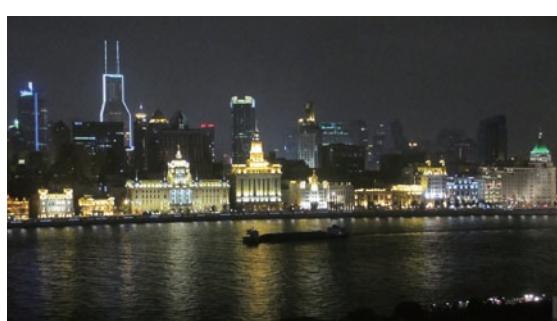
研修の後、実際に中国経済の停滞は統計発表でも鮮明になりましたが、やはり見て感じる方が情報が早いし確かですね。(当たり前ですが)

世界経済の動きも、こういうのを見てしまうと不安感を覚えてしまいます。



途中、蘇州の景勝地西湖も見学。由緒ありそうな風車、と思いきや。最近できたばかりのモノだそうです。

中国に行くと立派なニセモノが多いです。でも、下は本物の上海外灘の夜景。きれいです。



(3日目)

今日は、自由行動日。旅行会社主催と社員有志による2つの観光ツアーが企画。ひとつは上海の著名観光地を巡るツアー。もうひとつは、上海水族館ツアー。



高層ビル街。また新しい巨大ビルが建っています。

地上3階地下2階の館内は「中国ゾーン」「アマゾン・南アメリカゾーン」「アフリカゾーン」など9つのゾーンに分かれていて、大都会上海にいながら世界の水中生物を見ることができたようです。

また、こちらの水族館の最大の目玉はなんといっても「海底トンネル」!155mという世界最長のトンネル水槽では、海底を散歩しながら優雅に泳ぐサメやエイを眺めることができました。やっぱりおカネの力は何でも引っ張ってきますね。その他の者も各々上海の街へショッピングツアーへと旅立っていました。

研修旅行中行方不明者がでないか心配しましたが、そこはやはり大人の皆さん。中国通を自負していた者がひとりスリにあってしまいましたが、それ以外は大きな事故もなく楽しい3日間を過ごさせていただきました。

3日間の研修旅行ではありましたが、海外、それも巨大経済大国となった中国の実情を肌で感じたことは我々にとって貴重な経験となりました。

「割と食べ物おいしいじゃない」「もっと遊びたかった」等々、社員の皆さん身近に中国を感じ海外へ雄飛することを期待できたのじゃないかと思います。

期間中お世話いただいた西鉄旅行様、ヤスナガの安永社長様以下中国現地法人のスタッフの皆様、また快く視察を受け入れていただいた企業の皆様方にも、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

〈田名部 徹朗 株式会社 三松〉

TOPICS

全国初！

板金い・ろ・は研修会に参加して

5月8日～9日、7月11日 全3回

- 社会人になり、当社に入社して今回の
- 板金い・ろ・は研修に参加させてもらいました。
- 今まで教わらなかった事が多くあって、自分自身直した方がいい所や、他の人の意見を聞いて自分も取り入れようと思った所が沢山だったので学んだ事をこの先活かし

て周りの人からも頼ってもらえるような人に成長したいと思います。 

自分にとってもいい勉強になり、仕事をこなしながら更に学び自分のものにしていきたいです。 

（手嶋 玲佳 八祥産業株式会社）



TOPICS コーナーは、編集委員以外の多くの会員様の意見や写真を掲載していきたいと思います。掲載ご希望の方は、下記事務局まで！

編集後記

今年の夏は雨、雨、雨で始まりました。北部九州豪雨は本当にすごかったです。被害に遭われた皆様には改めてお見舞い申し上げます。

その他今年は世界中で異常気象が発生しています。

さまざまと自然の恐ろしさ、それにあらがえない我々の力のなさを痛感いたしました。

その他にもオリンピック、計画停電。

熱い、暑い、眠いと何かと大変だった今年の夏でした。

そんな中で今回の会報は、名瀑やみそぎ等々水にちなんだ記事や 熱い中国事情等を書かせていただきました。

若干ではありますが、冷や汗も含めて涼んでいただけたでしょうか？

景気も暑さに負けたのか不穏な状況となっていましたが、

我々規模の小さい中小零細企業が GDP のアップダウンに一喜一憂してもしょうがありません。

オリンピックとまではいかないかもしれません、人々に感動を与える仕事をひとつひとつがけていくことで自分達なりの金メダルを取れると信じ頑張っていこうと誓った今年の夏でした。

ガンバレ、ニッポン！
ガンバレ、ニッポン製造業！

（田名部 徹朗 株式会社 三松）



今回の表紙

福岡県糸島市にある「白糸の滝」は、標高 900m の羽金山の中腹に位置し、落差は約 24m、真っ白なしぶきをあげ、まるで絹糸がより集まって流れ落ちるかのように見える「白糸の滝」

は県指定の名勝地です。マイナスイオンと自然あふれる憩いの場としてファミリー層に親しまれています。滝周辺では、釣り具をレンタルしてヤマメ釣りも楽しめます。また、郷土料理「糸島そうめんちり」のほか、夏には名物の「そうめん流し」が人気です。

（表紙担当：野口 誠二 株式会社 玄海技研工業）

シートメタル九州 第34号 (九州シートメタル工業会会報)

発行日 平成 24 年 9 月 25 日

発 行 九州シートメタル工業会

事務局 株式会社アマダ 九州支店

〒 816-0912 福岡県大野城市御笠川 1-9-4

TEL 092-580-8570

九州シートメタル工業会 ホームページ <http://www/kyushu-sma.gr.jp>

ホームページアドレス・メールアドレスを変更された会員の方は、事務局までご連絡下さい。